

令和7年度「歴史総合セミナー」シラバス

科目名	必修・選択	単位数	類型
歴史総合セミナー	選択	2	文型・GC
教科書 副教材等	教科書：わたしたちの歴史 日本から世界へ（山川出版社） 資料集：明快歴史総合図説 シンフォニア（帝国書院）		

1 学習目標

歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、国際社会を主体的に生きるために必要な資質・能力を育成することを目指す。

2 学習概要

- ・近現代の歴史の変化に関わる事柄について、世界とその中の日本を広い視点から捉え、現代の様々な課題の形成に関わる近現代の歴史を理解していきます。
- ・いろいろな資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる力を更に身に付けるようにします。
- ・学習内容や調べた内容を多面的・多角的に考察したり、考察したことを説明したり、それらを基に議論したりします。

3 学習方法

- ・受け身にならないためにも事前に教科書を一通り読んで、問題意識を持って授業に望んでください。
- ・授業は真剣に、一言一句も聞きもらさず、メモを取るなどしてポイントをつかんでください。
- ・問題意識を持つためにも、質問することを恐れなくてください。疑問があったら積極的に質問したり、Chromebookなどを使用して調べてください。
- ・副教材のノートや授業のメモををしっかりとまとめてください。
- ・日頃の「リアクションシート」をおろそかにせず、提出を必ずしてください。
- ・定期試験前には歴史用語はもちろん、その意味もよく理解して覚えてください。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考力・判断力・表現力 (②)」、「学びに向かう人間性 (③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

「知識・技能 (①)」：定期試験・小テストなど

「思考力・判断力・表現力 (②)」：授業プリント・リアクションシート・発表など

「学びに向かう力 (③)」：ノート・提出物・授業態度・リアクションシート・発表など。

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考力・判断力・表現力 (②)	学びに向かう人間性 (③)
評価基準	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい（内容のまとめりごと）	考査等
一 学 期	<p>第三部</p> <p>1 第三世界の登場</p> <p>2 冷戦の固定化と「雪どけ」</p> <p>3 冷戦の展開</p> <p>4 55年体制と安保闘争</p> <p>5 高度経済成長の光と影</p> <p>6 ベトナム戦争とアメリカ</p> <p>7 経済構造の変化</p> <p>8 日本の経済大国化</p> <p>9 アジアの経済成長</p> <p>10 社会主義の停滞と新自由主義</p> <p>11 冷戦の終結</p> <p>12 冷戦後の地域紛争</p> <p>13 地域統合</p> <p>14 現代世界の諸課題</p> <p>15 日本の諸課題</p> <p>歴史の舞台</p>	<p>第三世界の登場と冷戦構造の展開について理解を深める</p> <p>ブレトンウッズ体制の崩壊といった経済システムの変化について考察する</p> <p>冷戦後の変化について考察する</p> <p>現代の諸課題について調べ、考察する。</p>	<p>中間考査</p> <p>期末考査</p>
二 学 期	<p>近代化への問い</p> <p>①交通と貿易 ②産業と人口</p> <p>③権利意識と政治参加や国民の義務</p> <p>④学校教育 ⑤労働と家族</p> <p>⑥移民</p> <p>国際秩序の変化や大衆化への問い</p> <p>①国際関係の緊密化</p> <p>②アメリカ合衆国とソ連の台頭</p> <p>③植民地の独立</p> <p>④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ⑤生活様式の変化</p> <p>グローバル化への問い</p> <p>①冷戦と国際関係 ②人と資本の移動</p> <p>③高度情報通信 ④食料と人口</p> <p>⑤資源・エネルギーと地球環境</p> <p>⑥感染症 ⑦多様な人々の共存</p>	<p>資料等を通じて様々な側面から近代化について理解する。</p> <p>資料等を通じて様々な側面から国際秩序の変化や大衆化について理解する。</p> <p>資料等を通じて様々な側面からグローバル化について理解する。</p>	<p>中間考査</p> <p>期末考査</p>
三 学 期	<p>いまの私たちにつながる課題</p> <p>対立・協調／開発・保全</p>	<p>課題を設定し理解を深める。</p>	